

2017年度第10回 J A 北海道厚生連 帯広厚生病院倫理審査委員会 会議の記録概要

倫理審査委員会 事務局

開催日時	2018年1月4日（木） 18:00 ～ 18:40
開催場所	J A 北海道厚生連帯広厚生病院 西棟 2階 事務会議室 2
出席委員名	佐澤 陽「委員長」、保前 英希、秋川 和聖、山内 英智、渡辺 浩明、加藤 広美、中島 悠雄、北村 延夫、岡崎 まゆみ
委員数	出席委員数：9名／全委員数：10名
審議課題：審議結果を含む主な議論の概要	

研究課題番号	2017-056
審議案件名	脳転移を有する非小細胞肺癌の予後因子に関するレトロスペクティブ研究
実施責任者	呼吸器内科 主任部長 高村 圭
審議内容	【迅速審査】新規に研究計画申請された当該課題について、資料に沿って研究の背景、目的、方法等について委員長より説明された。侵襲・介入ない後ろ向き研究であるため迅速審査として審査を行い平成29年12月28日付けで承認とした。
審議結果	承認

研究課題番号	2017-057
審議案件名	出血リスクの高い経皮的冠動脈インターベンション施行患者を対象としたプラスグレル治療の研究-PENDULUM Mono-
実施責任者	循環器内科 主任部長 高橋 亨
審議内容	【迅速審査】平成29年9月12日付けで既に承認済の案件について、プロトコールが変更となった。継続中の研究の軽微な変更であるため迅速審査として審査を行い平成29年12月28日付けで承認とした。
審議結果	承認

研究課題番号	2017-058
審議案件名	日本脊椎脊髄病学会主導の「側方進入椎体間固定術の合併症調査」への協力
実施責任者	整形外科 主任部長 安井 啓悟
審議内容	【迅速審査】新規に研究計画申請された当該課題について、資料に沿って研究の背景、目的、方法等について委員長より説明された。侵襲・介入ない後ろ向き研究であるため迅速審査として審査を行い平成29年12月28日付けで承認とした。
審議結果	承認

研究課題番号	2017-059
審議案件名	学術集会等におけるLBC標本貸借に関する契約書
実施責任者	臨床検査技術科 技師長 小松 良一
審議内容	【迅速審査】平成28年10月26日付けで既に承認済の案件について、標本貸借契約期間の延長が必要となった。標本貸借自体は過去に採取・作成された標本を対象とするものであることと、変更点は契約期間の延長であるため迅速審査として審査を行平成29年12月28日付けで承認とした。
審議結果	承認
研究課題番号	2017-060
審議案件名	C型慢性肝炎・代償性肝硬変患者に対するglecaprevir/pibrentasvir併用療法の安全性、治療効果の検討
実施責任者	消化器内科 院長 菊池 英明
審議内容	新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事前審査、倫理的配慮について説明された。軽微な侵襲が伴う研究であり、実施責任者に同意の取得方法や倫理的配慮等について確認し、研究実施の妥当性について審議した。
審議結果	承認
研究課題番号	2017-061
審議案件名	治療抵抗性骨・軟部転移性腫瘍に対するCTガイド下経皮的ラジオ波凝固療法
実施責任者	放射線科 第一主任部長 宮本 憲幸
審議内容	新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事前審査、倫理的配慮について説明された。保険適応外診療であり、実施責任者に同意の取得方法や倫理的配慮等について確認し、研究実施の妥当性について審議した。
審議結果	承認
研究課題番号	2017-062
審議案件名	脊柱靭帯骨化症の病因に関する研究
実施責任者	整形外科 主任部長 安井 啓悟
審議内容	新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事前審査、倫理的配慮について説明された。侵襲を伴う研究であり、実施責任者に同意の取得方法や倫理的配慮等について確認し、研究実施の妥当性について審議した。
審議結果	承認

研究課題番号	2017-063
審議案件名	経カテーテル的塞栓術の際のNBCA (n-butyl-2-cianoacrylate) の適応外使用
実施責任者	放射線科 医長 高橋 文也
審議内容	新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事前審査、倫理的配慮について説明された。液状塞栓物質の保険適応外使用であり、実施責任者に同意の取得方法や倫理的配慮等について確認し、研究実施の妥当性について審議した。
審議結果	承認
研究課題番号	2017-064
審議案件名	心臓血管外科術後の心臓リハビリテーションプログラム改訂へ向けての取り組み～包括的な心臓リハビリテーションの実施を目指して～
実施責任者	北3病棟 看護師 森谷 光雄
審議内容	新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事前審査、倫理的配慮について説明された。介入・侵襲ない研究であるが、患者に直接アンケートを行うことから、実施責任者にアンケート取得方法や倫理的配慮等について確認し、研究実施の妥当性について審議した。
審議結果	承認